

令和元年 6 月吉日

ご町内の皆様各位

吉備津彦神社

宮司 守分 清身

吉備津彦神社夏祭・御田植祭について（ご案内）

拝啓

梅雨の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当社護持のため格別のご高配を賜り、有難く篤く御礼申し上げます。

さて、例年どおり今年も当社夏祭・御田植祭を斎行致します。（別紙 1 参照）神賑行事のひとつであります花火につきましては、西辛川地区（別紙 2 参照）において 8 月 2 日の午後 8 時頃から打ち上げる予定です。

また、誠に勝手ながら、当社の都合により人形（ひとがた）の各ご家庭への配布を控えさせていただいております。当社賽銭箱の横に人形（ひとがた）をご用意いたしておりますので、どうぞお持ち帰り頂きまして、8 月 2 日午後 4 時からの厄神祭ご奉仕以降に神社へお持ちください。ご神札と茅の輪守をおわけいたします。

ご町内の皆様におかれましては、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

岡山県指定重要無形民俗文化財

御田植祭

令和元年八月二日（金）

午後四時 厄神祭

夏越大祓祭にあたる神事。「茅の輪」をくぐり心身を清めます

午後九時 御本殿祭

午後十時 御斗代祭

御羽車に稲苗を乗せて風と水の神様をお祀りする「霧島」「亀島」に運び、神池に設けた二ヶ所の斎場で、同時に暗中厳かに神事が執り行われます。

午後八時頃 打上花火

令和元年八月三日（土）

午前十時 御本殿祭

午後四時 御幡献納祭

稲作文化の伝来や吉備津彦命の凱旋水軍の姿を表しているといわれ、田歌を歌いながら数十本の御幡の行列が神池を周ります。

此の御幡に取り付けられた扇等を隨身門前にて参拝者が争奪します。扇を持ち帰り神棚に祀ると「家内安全・無病息災」、田畑に立てると「五穀豊穡」になるとの言い伝えがあります。

荒天等により一部内容を変更する場合があります

当日は、境内が混雑することが予想されます。

お参りの際はお足下にお気をつけてお参りください

備前國一宮

吉備津彦神社

岡山市北区一宮一〇四三

〇八六（二八四）〇〇三（

御田植祭 注意事項

下記注意事項をお読みの上、祭典・祭事の円滑な斎行にご協力をお願いいたします。

祭典・祭事について

- 荒天等により一部内容を変更する場合があります。
- 祭典・祭事の妨げになる行為はおやめください。
- 打上花火会場付近は一部立入禁止区域を設けております。危険防止の為、禁止区域内には絶対に立ち入らないでください。また、所定の場所以外でのご観覧はおやめください。
- 花火の破片等を見つけた際は、触らず速やかにお近くの警備員までお知らせください。
- 神社境内は火気厳禁です。許可なく下記の持込を禁止します。

交通トラブルについて

- 当日は、周辺道路の渋滞・駐車場の混雑が予想されます。
なるべく公共の交通機関をご利用ください。
- 警備員の誘導に従い駐車をお願いいたします。
- 祭典及び、渋滞の原因・通行の妨げとなりますので、違法駐車はおやめください。

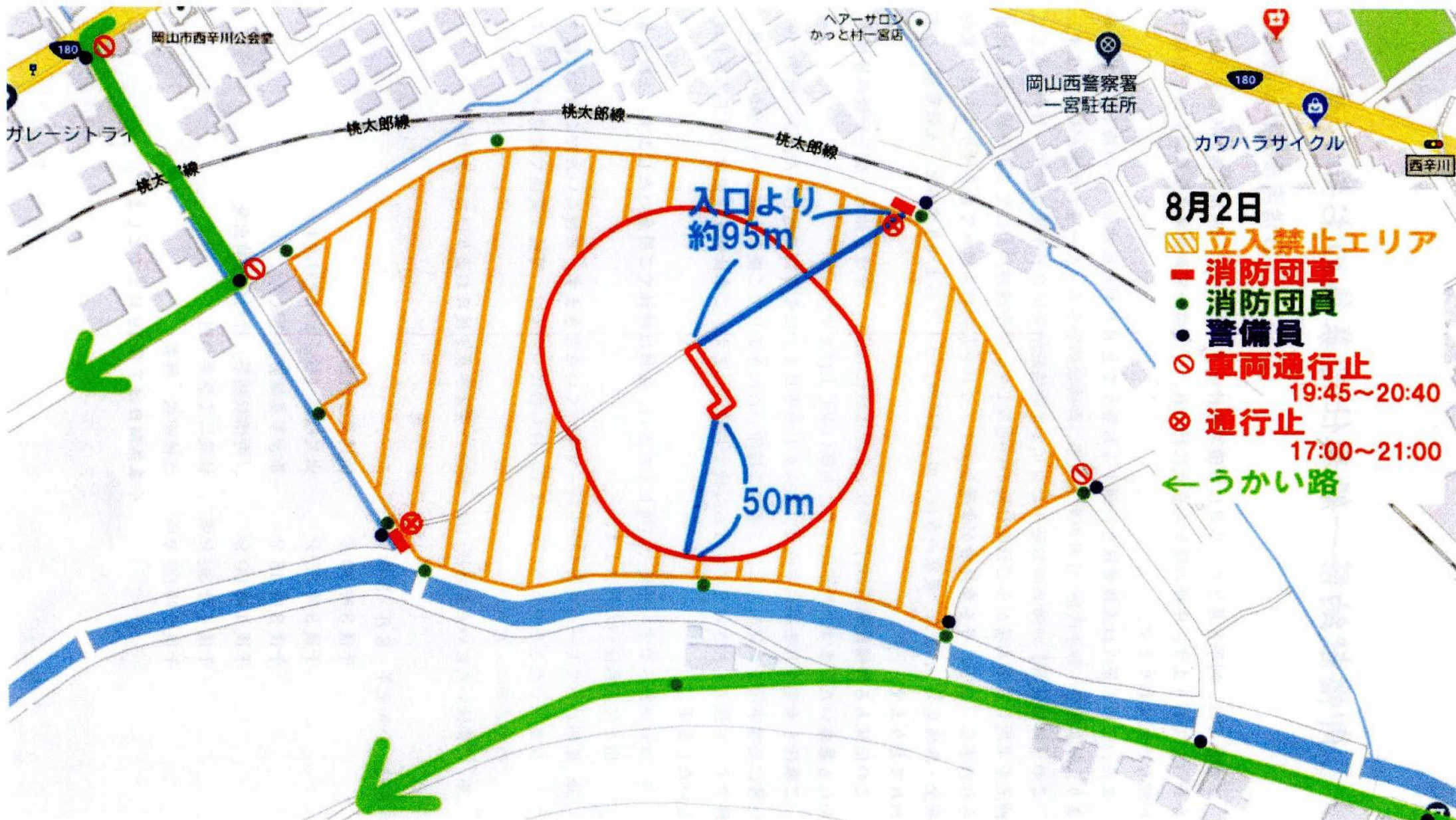
事故防止にご協力ください

- 防犯の為、境内を岡山西警察署と警備員が巡回しております。
また、御田植祭当日は第1駐車場に警備本部を設置しております。
些細なことでもお気づきの点がございましたら、お気軽にお声掛けください。
- 事故防止の為、警備員の指示には必ず従ってください。
- 境内及び周辺は混雑が予想されます。小さなお子様をお連れの際は、目を離さないよう十分お気をつけください。また、お手荷物等にも十分お気をつけください。
- ご観覧の際は、事故や怪我等に十分お気をつけください。
また、大燈籠や階段でのご観覧は大変危険ですので事故防止の為おやめください。
- 当日は、気温が高くなることが予想されます。各自水分補給の対策をし、熱中症には十分お気を付けください。

マナーをお守りください

- 神社境内は、御神域の為、禁酒・禁煙・ペットの同伴は禁止です。
- 境内で個人的な鑑賞の範囲を超えての撮影（業務目的・公開目的）や取材を行う場合は、当神社の許可が必要です。
- 境内美化及び環境保護の為、ゴミは各自でお持ち帰りください

(別紙2)



御幡献納祭一般奉仕者募集のお知らせ

吉備津彦神社社務所

当神社では、例年8月2日・3日に吉備津彦神社『御田植祭』（県指定無形民俗文化財）を斎行しております。中世の頃から盛大に行われ、『備前一宮御神事之絵巻物』にその様子が紹介されております。

また、このお祭りは五穀豊穡を祈願するお祭りで2日夕刻の厄神祭（茅の輪くぐり）に始まり、御本殿祭・御斗代祭、3日の御本殿祭、御幡献納祭をもって一連の神事が終了します。

この『御田植祭』の締めのお祭りとなります御幡献納祭は3日午後4時頃、行列を成して神池を半周し正面鳥居からご社殿に向かい進みます。途中随神門前にてこの御幡に取り付けられた末広（扇子）等を参拝者が争奪します。これを家に持ち帰っておまつりすると“家内安全・無病息災”、また、農家の方は、田んぼや畑にさしておまつりすると“五穀豊穡”と言われております。

この伝統ある御幡献納祭の行列奉仕を氏子区域にお住いの皆様を始め、広く一般の皆様方からも募集いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。

ご奉仕を希望されます方は、あらかじめ当日までに受付にお越しいただき、所定の申込書に必要事項をご記入の上、ご署名ご捺印いただきましてご提出ください。（参加費は無料です。お供えくださいます方はお心持でお願いします。ご奉仕終了後には、撤下品をお渡しいたします。）

※ 当日は動きやすい服装でお越しください。法被は神社でご用意いたします。法被を着用してご奉仕いただきます。

※ 原則としてお一人で持ち物を持って歩いていただきます。お持ちいただく物には様々な重さや大きさのものがああります。持ち物については、可能な範囲で配慮いたしますのでご安心ください。

※ ご奉仕いただいた方には、記念の集合写真を後日お送りいたします。

記

日時 令和元年 8月 3日（土）

午後3時30分	祈祷待合所集合
午後3時35分	出欠確認（ハッピの受け渡し）
午後3時45分	集合写真撮影（拝殿前にて）
午後4時00分	「御幡献納祭」行列会館前出発
午後4時30分頃	社殿にて祭典参列
午後5時00分頃	法被回収 解散

※募集期日は7月19日までとします。

以上